

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

都道府県名	高知県
市区町村名	黒潮町

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
黒潮町	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	令和3年度の校務支援システムによる集計で、町内の教員の33.3%が月45時間以上の時間外勤務を行っており、業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・町全体で学習支援員を14名配置し、全員200日以上で常駐化する。 ・学習支援員は、各学級においてプリントの採点や教材作成等の支援を行うほか、生活科や総合的な学習において地域との連絡調整等も行い、教員の負担軽減を図る。 ・中学校の部活動にかかる教員の負担軽減を図るため、地域住民による部活動支援員を5名配置する。	・教員が子どもと向き合う時間を確保できることにより、個々に適した指導ができる。 ・地域人材の活用により教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	33	%	25	31	2 学習支援員や部活動指導員の配置により教員の負担軽減に努めたが、多様化する課題への対応が求められるため時間外勤務削減の目標は達成できなかった。
黒潮町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	少子化により小規模校が増加し、学校運営において地域ボランティアの活用は必要不可欠であるが、地域ボランティアの高齢化と減少が進み、令和元年度は90名いたが、令和3年度には80名に減少し、新たな人材確保が課題となっている。	・地域コーディネーターを佐賀地域と大分地域に各1名配置し、学校と地域とのパイプ役として地域学校協働活動の計画と連絡調整及び地域ボランティアの確保を進める。	・地域の人材、産業、文化、自然などの教材資源情報が豊富になり、子どもの地域への関心と貢献しようとする気持ちが向上する。 ・地域コーディネーターの活動と地域ボランティア人数が増加することにより、保護者や地域住民の学校への関心が高まる。	町内全校の地域ボランティアの登録者の合計数	80	人	100	87	3 地域コーディネーターの働きかけにより地域ボランティアの目標人数は達成し学校活動への関心が高まったが、高齢化と参加人数の減少が進んでいる。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。